

# 劔・立山 山行記

2008年7月26～28日

## 1. 山域

劔・立山

## 2. 目的

小夏休みを利用して劔の決行。

劔沢で幕営した翌日に一日で劔 / 立山を周回する無謀な計画を実行する。

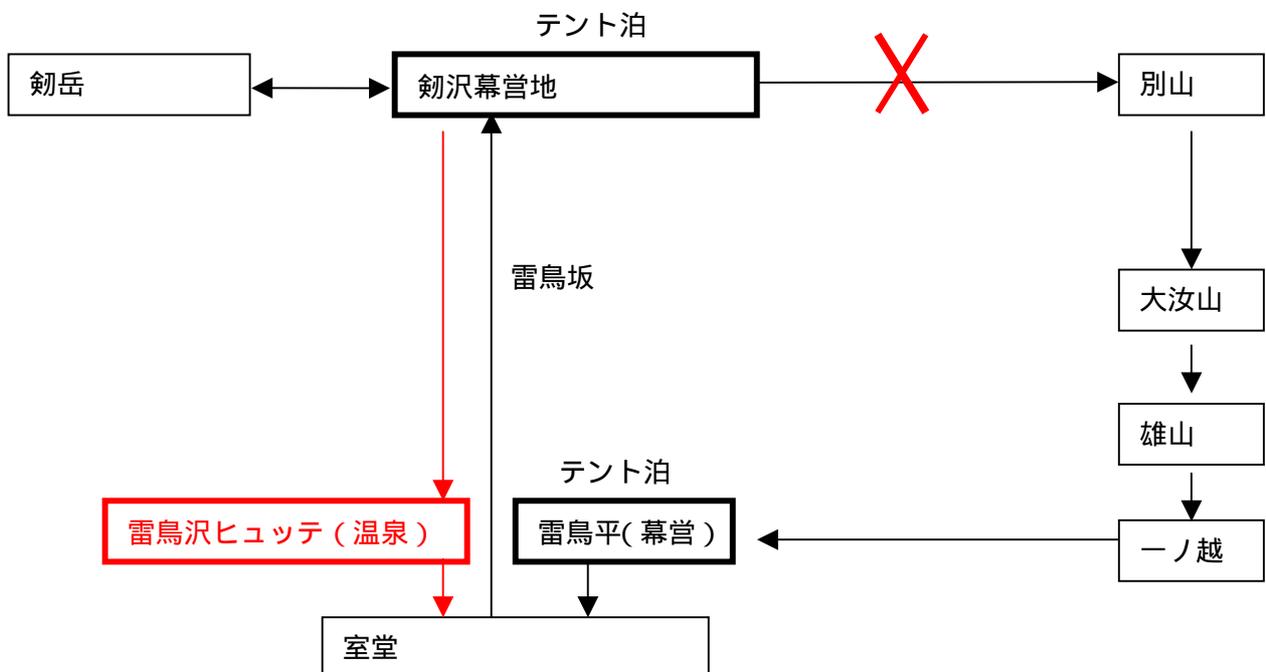
## 3. 概要

7月26日 長野新幹線を利用してバスで扇沢からアルペンルート室堂 劔沢幕営地にてテント泊

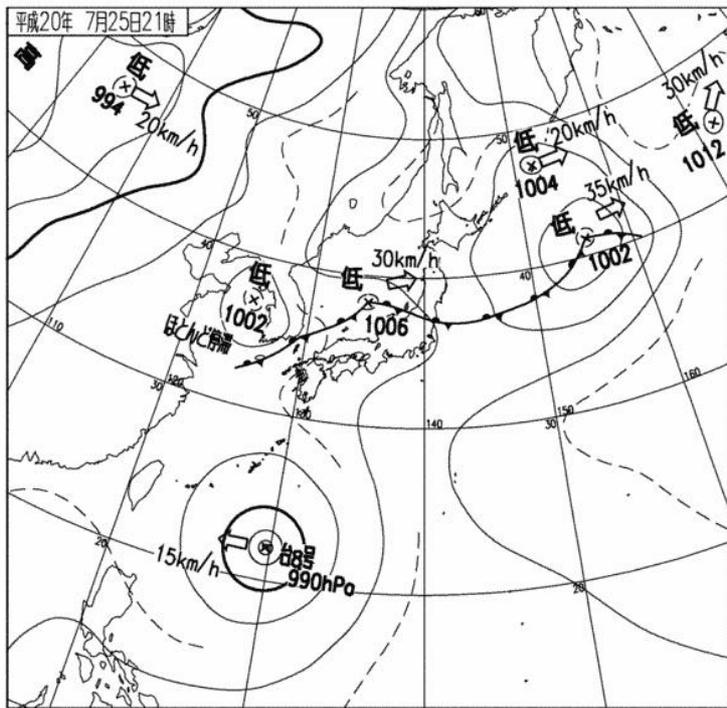
7月27日 劔沢から別山尾根ルートで劔をピストンしてテント撤収しそのまま立山を周回して一ノ越で下山。  
雷鳥沢で幕営。

7月28日 みくりが池かどこかで日帰り温泉して帰宅

・・・の予定であったが・・・27日テント撤収の後、無理かな・・・と思った直後に激しい雷雨。軟弱山屋の自分は雷鳥沢ヒュッテに逃げ込み・・・まったく温泉して予備日があるにもかかわらずそのまま帰宅。尚、このとき巷では豪雨による災害が彼方此方で発生していた。



#### 4. 前日の天気図



けして天気図はよくありません。前線が北上することを祈ったのですが・・・当日の携帯サイトの天気図もほとんど変わらず。その後湿った南風が前線を刺激して局地的な豪雨をもたらしたみたいです。

#### 5. タイムテーブル

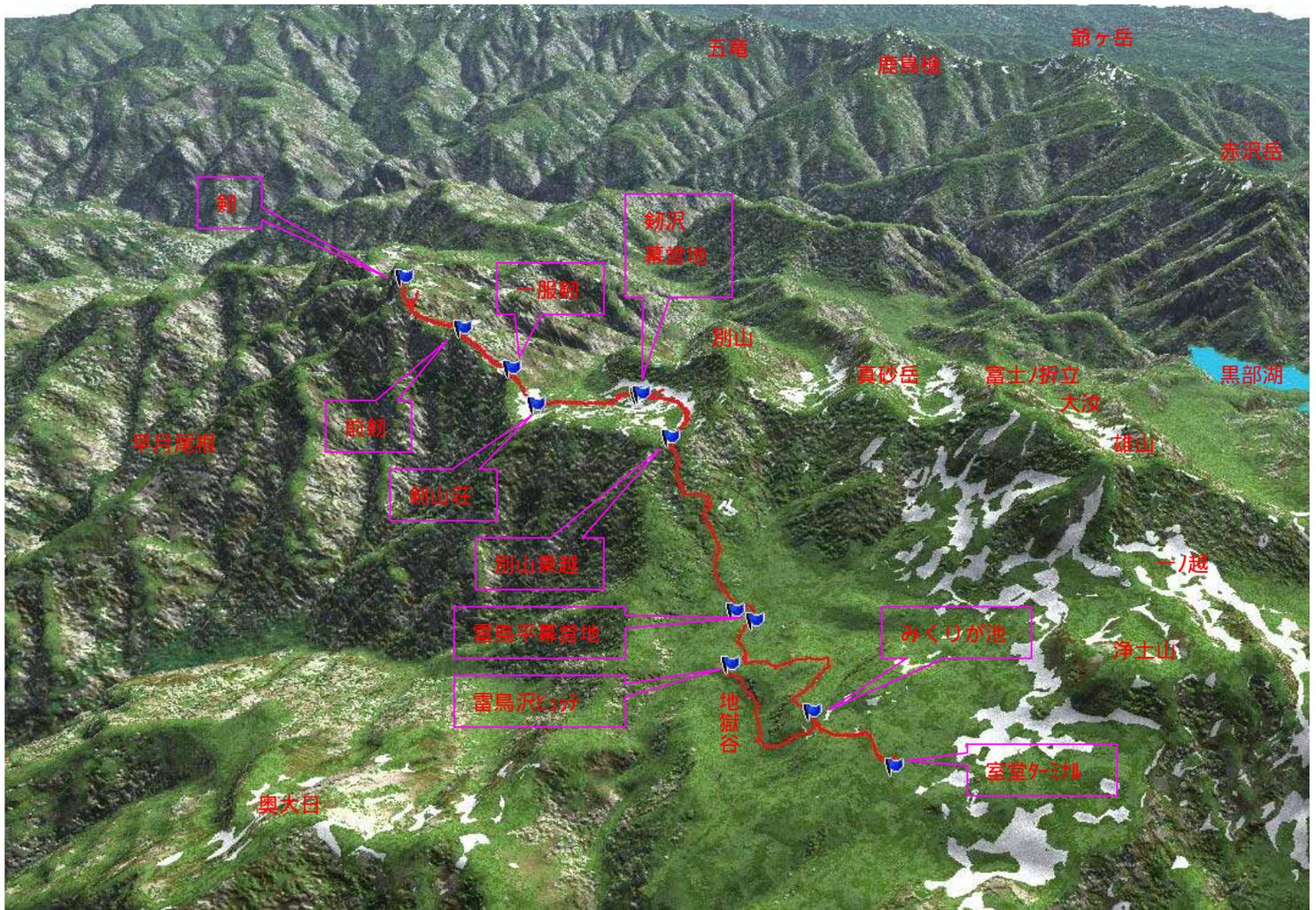
	日の出	4:50	日の入り	19:00		朝	昼	夕	
	到着	出発	時間	待ち/休					
<b>26日</b>									
八丁畷		5:32			京急				
品川	5:54	5:59	0:22	0:09	山手				
東京	6:11	6:24	0:12	0:09	あさま501				駅弁
長野	8:04	8:30	1:40	0:24	中島バス				
扇沢駅	10:15	10:30	1:45	0:15	関電 トリー				
黒部ダム	10:46	10:50	0:04	0:16	徒歩				
黒部湖	11:05	11:10	0:05	0:15	黒部ケーブルカー 昼飯				
黒部平	11:15	11:50	0:05	0:30	立山ロープウェイ				整理券45番で3本待ち ソバと薫製タマゴ
大観峰	11:57	12:15	0:07	0:08	立山トンネル トリー				
室堂	12:25	12:53	0:10	0:30					
雷鳥平	13:47	13:47	0:55	0:00					
別山乗越	15:52	16:05	2:05	0:08					雷鳥坂で猛烈な眠気に襲われる
劔沢幕営地	16:37		0:32						アルファ米+ジ'フィース'かつ井の素 缶ビール2本
<b>27日</b>	日の出	4:50		19:00					
起床	3:00								カップそば+オニギリ
劔沢幕営地		4:50							
劔山荘	5:20	5:23	0:30	0:03					
一服劔	5:43	5:43	0:20						
前劔	6:40	6:40	0:57						
劔	8:18	8:43	1:38	0:15					オニギリとカステラ
前劔	9:52	9:59	1:09	0:07					
一服劔	10:39	10:39	0:40						
劔山荘	10:55	11:05	0:14	0:10					
劔沢幕営地	11:40	13:12	0:35	1:30	テント撤収				カレーヌードルとオニギリ 雲行きが怪しく悩む

別山乗越	14:03	14:13	0:51	0:10				
雷鳥沢ヒュッテ	15:43		1:30					8700円 夕食は6時
28日								
起床	4:30							雷鳥沢温泉でまったり 朝食は6時
雷鳥沢ヒュッテ		7:55			地獄谷周り			
室堂	8:35	9:15			アルペンルート			往復券無くす8時45分発乗れず
扇沢駅	10:51	11:00			中島バス			
長野	12:40	13:02	1:40		あさま526号			駅弁
東京	15:32							
八丁畷	16:20							

こうしてみると食料は1日分で間に合った。

## 6. カシ米尔3DによるGPSトレース

カシバード起動 室堂南西約2キロ地点の上空より撮影  
 風景 北アルプス(夏)  
 残雪 雪線 2400m



## 7. アルバム



昨年7月白馬の幕営地近くより剣を望む。  
新田次郎の「劔岳 点の記」が映画化されるので来年以降ブームとなるかもしれない。

ムーンライト信州もさわやか信州号も自分にはどうも・・・「あずさ」と大糸線の繋がりも悪い。で・・・いつもの長野新幹線を利用して中ノ島バスで扇沢からアルペンルートを利用するこしにした。  
7月26日 朝5時20分自宅を出発して扇沢には10時15分到着でした。



長野駅東口 扇沢行きバスです。



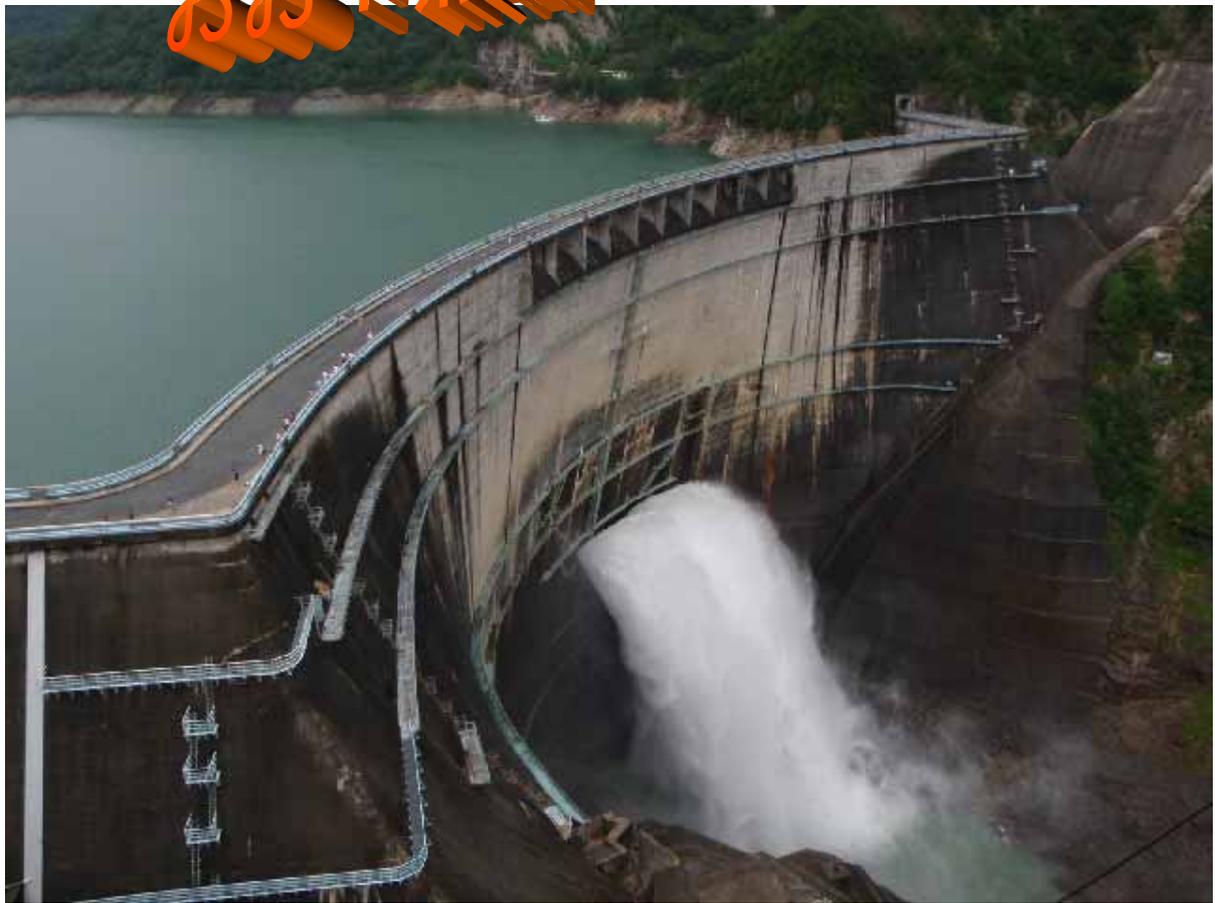
扇沢駅  
駐車場は満車に近いほどでした。  
アルペンルートの始まりです。



小学生の時に完成した黒四（くろよん）ダムまで赤沢岳の下を有名な関電トンネルをトロリーバスで行きます。

トンネルを抜けると・・・

おお！黒部の太陽だあー！





ダム堤体を歩いてケーブルカーへ  
ここで荷物代をまた払いロープウェー  
整理券をもらいます。9割以上は観  
光客です。



黒部平で立山中腹を繋ぐロープウェイですがここで整理  
券で45分くらい待たされました。空いてたほうかな。  
昼食取るにはちょうどよい。



またまたトロリーバスで立山の土手  
っ腹を貫通します。



室堂平に到着しました。



みくりが池



血の池  
うーむ。オドロオドロシー・・・くはない。  
水が赤っぽく染まっているだけ。



地獄谷



雷鳥平キャンプ場

このあたりから観光客は皆無となります。



雷鳥坂へは雷鳥沢の雪渓からはじまります。



立山は残念ながらガスっています。



だいぶ高度を上げました。雷鳥平の  
テント群がケシ粒の様です。  
斑模様の溶岩台地です。



一目会ったその日から・・・ご対面です。

( 劔御前小屋 別山乗越にて )



4時37分 劔沢幕営地に到着。予め用意した登山計画書を提出し幕営料は500円



泣く子も黙る富山県警山岳警備隊



我家。 劔沢小屋で手に入れた700円の缶ビールがすでに用意されています。





## 明日は登ろうよ あの頂へ

奥が剣。手前が前剣。右へ北方稜線・・・そして・・・ハツ峰



美しい雲ではあるが・・・

望ましくはない感じがします。



4時50分 出発  
 剣沢の雪渓をトラバースします。  
 源次郎尾根に向かったパーティは  
 アイゼンが必要なのじゃなからうか？



ツアーの人達。  
 人の事は言えないけれど・・・  
 うー。。。  
 早く追い抜きたい・・・。

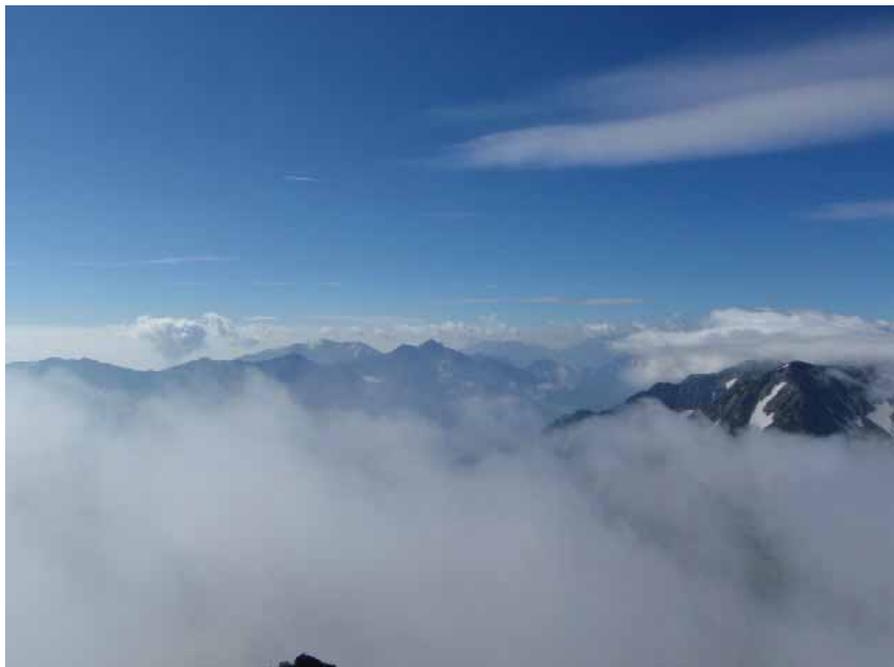


カニのたてばい  
最初の足のスタンスにケミカルアンカーを打  
った鉄筋を使いました。



頂上より立山

素晴らしい！  
ガスっていますがこれはこれで趣があ  
ります。





頂上でくつろぐ人々



源次郎尾根を直登したパーティ  
劔沢の出発時間は自分と同じでした。



証拠写真



シャッターを押す前には確かに立山が・・・



下山開始。早月尾根方面は視界不良でした。



「カニのよこばい」



周りの風景はこんな感じ



「カニのよこばい」のトラバースの開始です。  
最初の一步目のスタンスは体を岩から離さないと見えません。



下から見るとこんな感じ



劔沢幕営地に戻りテントを撤収後に雷雨。  
立山は諦めて別山乗越で最後の見納め



ずぶ濡れになって雷鳥沢ヒュッ  
テに逃げ込みます。夕方には雨も  
上がり目の前には立山連峰が姿  
を現しました。



テント張りたかったなあ。



やっぱり怪しい雲です。



夕飯。因みにお腕はみそ汁ではなくカレースープ。

朝飯。因みに卵は生ではなくゆで。

朝から激しい雷雨。暫く様子を見て7時50分ころ出発することにしました。



地獄谷



下山時のロープウェイで

8. 花



クルマユリ



ハクサンフーロ



シナノキンバイ



イワギキョウ



ハクサンイチゲ



チングルマ

## 9. 反省点および気づいた点

カニたてばいの一歩目の足スタンスに鉄筋を利用した。

スラブに鎖が打ってある場所があったがここよりたしかなホールドのルートがあった。

実際そちらを素手で登攀したが安全で安定していたと思う。自分の独りよがりかもしれないけど・・・。

「カニのよこばい」は安全策をとるべきなのかもしれない。一つミスすれば致命的だから。

今回ニッカなのでスパッツは省略したが、豪雨の場合はスパッツは必要と感じた。

LEDヘッドランプも予備電池は必要。予備のランプを携帯していてよかった。

夜行で早朝に着けば立山 劔沢 劔のコースも可能かな。

北アルプスでは計画の段階で真夏の午後（1時過ぎ）に稜線上に居る計画を立てるべきではない。

明らかに山慣れしていないツアーの人達が前劔の悪いガレ場で大きな音とともに落石。前劔と劔の間の何でもない稜線で足を踏み外して半身まで落として滑落寸前。そのたびに悲鳴と怒号。しかし・・・自分と彼らといかほど違うというのだろうか？・・・そう思うと少しブルーな気持ちとなり今回の山行に小さな影を落としたことを否認しません。

おしまい